

# 一般会計決算

平成27年度の一般会計と特別会計、企業会計の決算が市議会9月定例会で認定されました。市では将来都市像として掲げる「緑きらきら、人いきいき、交流都市 御殿場」の実現に向けて、住民福祉の充実などに努めました。ここでは皆さんから納めていただいた税金などを元に、市の財政がどのように運営されたか、概要をお知らせします。



財政課 ☎ (82)4322

## 市民一人当たりに使われたお金

民生費	119,203円
総務費	83,656円
土木費	61,490円
教育費	37,854円
衛生費	33,254円
公債費	27,341円
消防費	15,148円
農林水産業費	8,917円
その他	13,947円

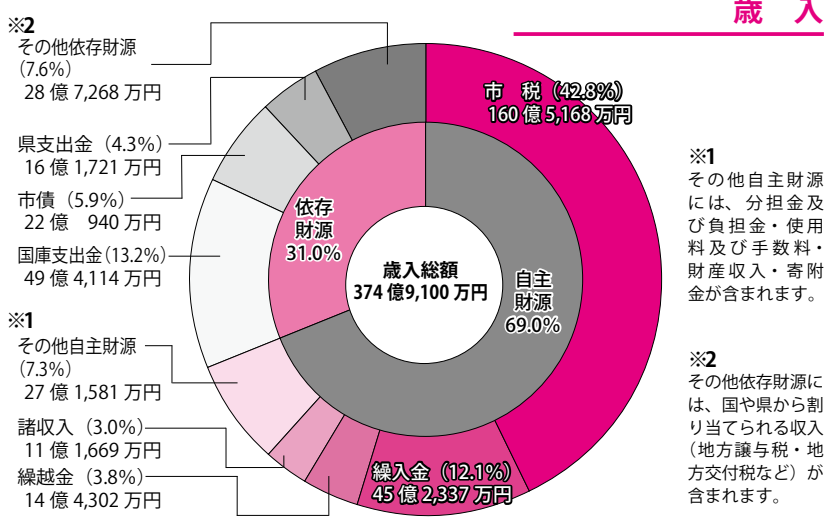
人口は、平成28年3月31日現在の住民基本台帳の登録人口88,853人で算出しました。

※その他には、議会費・商工費・労働費・災害復旧費が含まれます。

市民一人あたり 地方債残高 41万1,418円 ※一般会計と特別会計を合わせた残高

## 地方債残高の推移

平成23年度	393億3,487万円
平成24年度	383億5,404万円
平成25年度	379億2,507万円
平成26年度	371億6,060万円
平成27年度	365億5,570万円



## 歳入

市税…歳入全体の42.8%を占める最も大きな財源で、前年度と比べ1億9,455万円余りの減額となりました。これは主に、市民税・固定資産税の減収によるものです。

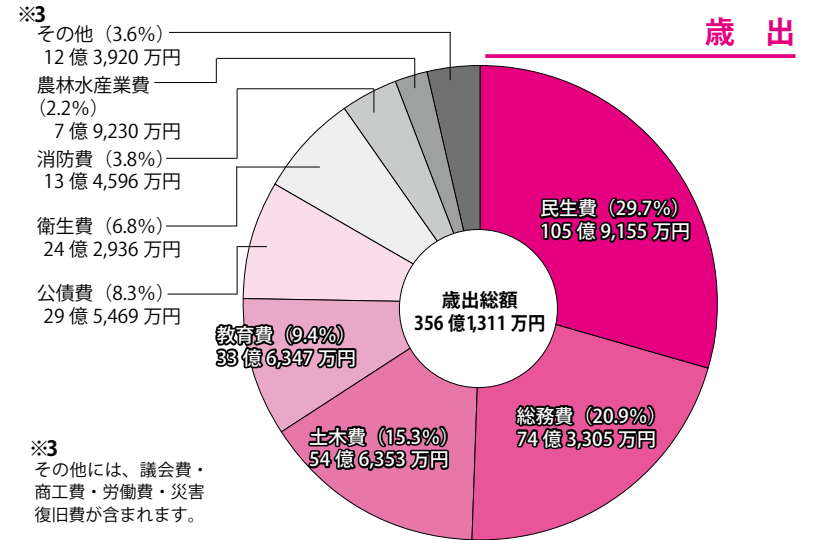
地方交付税…財源不足団体から財源超過団体になったことによる普通交付税の減少などにより、前年度と比べ2億3,111万円余りの減額となりました。

使用料及び手数料…公立幼稚園・保育所・認定子ども園個人給付額などの増加などにより、前年度と比べ9億6,399万円余りの増額となりました。

国庫支出金…地域活性化・地域住民生活等緊急支援助付金などの増加により、前年度と比べ2億2,683万円余りの増額となりました。

繰入金…基本繰入金の減少により、前年度と比べ1億1,098万円余りの減額となりました。財産区繰入金は41億1,265万円余りでした。主な充当事業は、地区集会施設整備事業、地域計画関連道路整備事業などです。

諸収入…市貸付金元利収入などの減少により、前年度と比べ1億4,320万円余りの減額となりました。



## 歳出

総務費…庁舎東館建設事業などの増加により、前年度と比べ13億7,547万円余りの増額となりました。

民生費…公立施設個人給付額などの増加により、前年度と比べ11億307万円余りの増額となりました。

衛生費…塵芥処理費負担金などの減少により、前年度と比べ7億8,907万円余りの減額となりました。

土木費…地域の元気臨時交付金道路整備事業などの減少により、前年度と比べ2億8,750万円余りの減額となりました。

教育費…印野小学校校舎改築事業などの減少により、前年度と比べ5億9,256万円余りの減額となりました。

## 特別会計

9つある特別会計は、国民健康保険事業会計・介護保険事業会計などの事業費の増加により、前年度と比べ歳出ベースで16億1,442万円余り、10.3%の増額となりました。

## 平成27年度に実施した主な事業

区分	事業名	事業費
総務費	地区集会施設整備事業	4億2,995万円
	印野支所移転改築事業	6億3,716万円
	庁舎東館建設事業	8億1,891万円
民生費	子ども医療費助成事業	4億2,382万円
衛生費	感染症予防事業	2億4,824万円
	市民健康づくり事業	1億6,248万円
土木費	地域計画関連道路整備事業	4億8,651万円
	中心市街地整備事業	2億6,622万円
	秩父宮記念公園整備事業(第2期)	2億9,560万円
教育費	小学校プール改築事業	1億3,106万円
	地区児童屋内体育施設耐震整備事業	2億344万円

## 特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	94億6,867万円	91億428万円
簡易水道事業	5,376万円	4,885万円
観光施設事業	4,649万円	4,372万円
救急医療センター事業	4億7,985万円	4億6,133万円
公共下水道事業	17億408万円	16億7,357万円
介護保険事業	52億7,683万円	50億6,077万円
農業集落排水事業	4,842万円	4,409万円
後期高齢者医療事業	7億8,197万円	7億7,636万円
公設浄化槽事業	4,840万円	4,508万円
合計	179億847万円	172億5,805万円

## 企業会計

区分	上水道事業	工業用水道事業
収益的収入	16億6,764万円	6,862万円
収益的支出	12億5,027万円	3,500万円
資本的収入	1,245万円	-
資本的支出	6億7,206万円	4,406万円

# 上水道事業会計決算



市が行っている上水道事業は、民間の企業と同じように独立採算制によって運営しています。平成27年度の上水道事業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されましたので、概要をお知らせします。

水道業務課 ☎ (82)4602

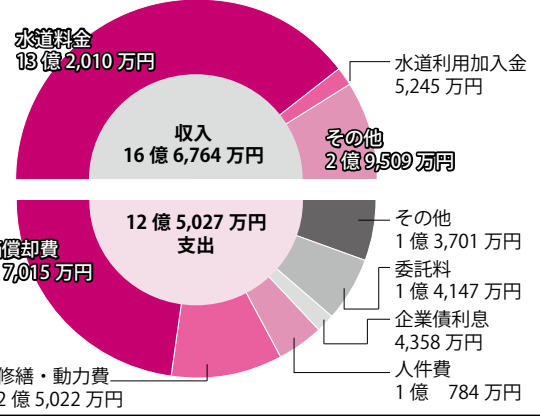
## 給水人口や総排水量などの推移

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
給水人口 (人)	84,772	84,382	83,997
給水戸数 (戸)	35,238	35,509	35,966
総配水量 (m)	12,000,796	11,713,753	11,673,786
総有収水量 (m)	10,008,868	9,776,467	9,760,006
有収率 (%)	83.4	83.5	83.6
給水原価 (円/m)	113.9	99.0	92.6
供給単価 (円/m)	124.6	124.9	125.2

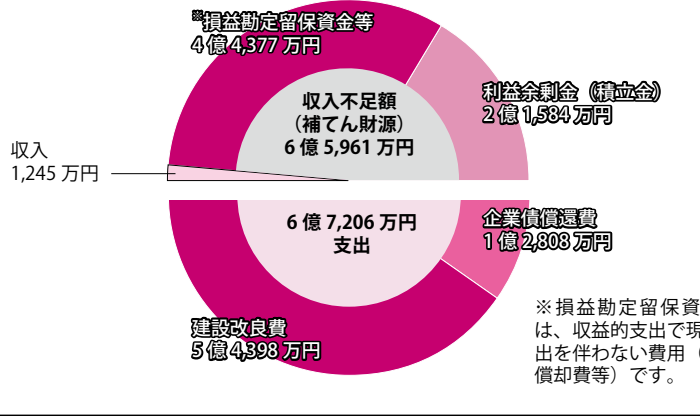
※有収率は、総配水量に対する総有収水量(実際に使用した水量)の割合で、比率は高いほど良い。  
※人口は、各年度の3月31日現在の数値で算出しました。

## 平成27年度上水道事業会計決算の内訳(消費税込み)

(事業の管理・運営に関する収入支出)



(施設の建設・改良などに関する収入支出)



# 公共下水道事業特別会計決算



市の公共下水道事業は、昭和63年に着手してから28年が経過し、御殿場処理区内の認可区域のうち、約92.4%の整備が完了しました。現在、国道138号より北側市街化区域の管渠工事を行っています。交通規制等、大変ご迷惑をお掛けしますがご協力をお願いします。

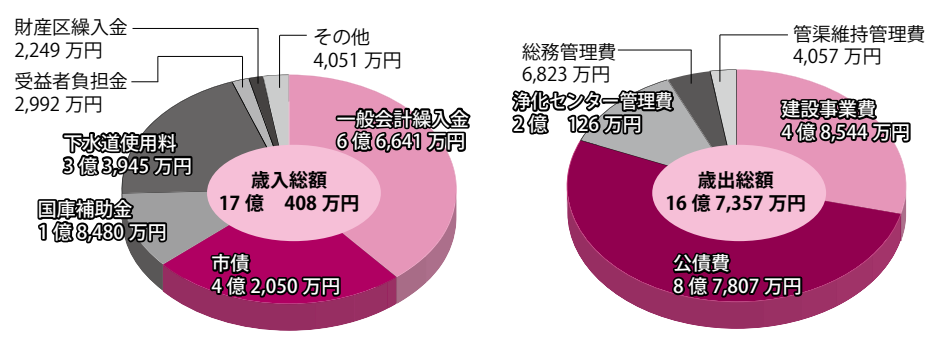
下水道課 ☎ (82)4223

## 整備面積や接続人口などの推移

	平成26年度	平成27年度
整備済面積	590.8ha	598.9ha
接続可能人口	31,229人	31,245人
接続人口	27,979人	29,060人
接続率	89.6%	93.0%
有収水量	2,575千m <sup>3</sup>	2,644千m <sup>3</sup>
使用料収入	3億2,899万円	3億3,945万円
※汚水処理原価	328円/m <sup>3</sup>	305円/m <sup>3</sup>

※汚水処理原価は総務省より示された経営指標の算式による

## 平成27年度公共下水道事業特別会計決算の内訳



## 平成27年度の業務状況

上水道事業は、平成24年3月に認可された第9期経営変更に基づき、計画的に事業を進めています。平成27年度は、給水人口は減少しましたが、当年度純利益を確保することができたことにより、財政状況は引き続き健全性を維持しています。

水道料金は、平成24年3月検針分から実施している10%割引を継続しています。

## 建設改良事業の概要

管路整備は、市内全域に渡り、配水管布設及び布設替工事を6,060.1ha実施しました。

このほか、配電盤、非常用発電機更新、取水ポンプ入替等を行いました。